

# 電波政策懇談会 電波利用システム将来像検討部会（第8回会合） 議事要旨

## 1 日時

平成21年3月27日（金） 13時00分－14時30分

## 2 場所

経済産業省 別館 1020号会議室

## 3 出席者（敬称略）

（主査：敬称略）

森川博之

（構成員：50音順、敬称略）

杉山博史（相澤構成員代理）、石原弘、稲村賢治、後川彰久、大西完司、加々見修（岡田構成員代理）、岡本芳郎、門脇直人、郡山龍、庄木裕樹、加藤久和（正源構成員代理）、  
玉木剛（鈴木構成員代理）、高田宜史、竹内嘉彦、久保田文人（田中謙治構成員代理）、  
中山正千代、広池彰、福田英輔、櫻井浩（藤原構成員代理）、古川憲志、堀部晃二郎、宮  
崎正夫、佐々木邦夫（三輪構成員代理）、諸橋知雄、矢野陽一、湧口清隆、横澤誠

（総務省）

渡辺電波政策課長、佐々木基幹通信課長、野水電波政策課企画官、坂中移動通信課企画  
官、瀬戸移動通信課推進官、新田電波政策課企画官、村上電波政策課統括補佐

## 4 議事

1. 開会
2. 議題
  - (1) 電波利用システムの将来像について
3. その他
4. 閉会

## 5 議事概要

- ・資料 8-1「電波政策懇談会（第4回会合）における主な意見」に基づき、事務局より説明を行った。
- ・資料 8-2「電波利用システム将来像検討部会におけるこれまでの検討状況」に基づき、事務局より説明を行った。
- ・資料 8-3「取り組むべき技術目標と標準化課題」に基づき、横澤アドホックグループ主任より説明があった。
- ・資料 8-4「要素技術ロードマップ」に基づき、横澤構成員より説明があった。
- ・今後の議論の進め方について事務局より説明を行った。

## 6 議事概要

各議題について以下のような意見及び質疑応答があった。

○技術的なロードマップと標準化時期は、現在想定されている時期なのか、それとも2020年代のある目標の実現をしようとした場合に、必要とされる時期という意味なのか？  
→現状はいずれの想定も含まれた情報になっている、再考する必要がある部分もあると思

われる。

○資料 8-1 のコメントにある、研究開発の重点を置くべきポイントとしては、資料 8-2 の 35 枚目の新たな電波利用 4 分野をピックアップしたということになるのか？  
→ポイントを大きな概念として整理したものが、その部分にあたる。

○言葉の持つ意味が重要。電波利用が高度に展開し、新しい産業、価値をつくっていく部分を、新しい概念としてうまくまとめた言葉として掲げていくことが重要。

○懇談会において、社会的効果をもう少し見やすくしたらどうかという指摘もあったため、社会的にどういう意味・効果があるのかについて、整理する必要があると考えている。

○技術はあくまでツールであり、アプリケーションのためのものという考え方で、技術からアプリケーションへとつながる道筋をもっと明確化するとよいだろう。

○2010 年代に無線が果たす役割は、この 10 年よりも確実に重要になると思われることから、これを推進する立場として、キャッチフレーズのような旗があるとわかりやすいので、今後検討していく必要があるだろう。

○部会での議論は技術メインで進められているが、キャッチフレーズを考える際には、技術とビジネスと社会と政策の関係性、相互作用を踏まえる必要があるだろう。

○周波数の議論がこれまであまりされていないのではないかと思うがその点はどうか？  
→今後の検討スケジュールとして、電波有効利用方策として最終的にまとめていく予定。

## 7 次回の予定

次回の部会開催は、4 月 6 日の週でスケジュール調整中。アドホックグループの開催については、必要に応じて別途調整する予定。

以上